宮崎県PTA新聞 No.419　2023年（令和5年）11月号　年3回発行

中学校版

きずな

2023 11 November

今号の題字

小林市立三松中学校 3年
上木場 可菜さん

地域とともにある学校

～三松の地で舞継がれる伝統文化「岩戸神楽」～

小林市立三松中学校（肝付正籍校長・生徒数２０３名）は、小林市の東側に位置し、南側には霧島の連峰を望む豊かな自然に囲まれています。

小林で唯一現存する「岩戸神楽」は、約３００年余（一時中断あり）五穀豊穣や稔りの秋の感謝を込めて舞われている歴史ある郷土芸能です。

「岩戸神楽」は三松地区に伝承され、毎年本校の第２学年生徒が「岩戸神楽」保存会の方々の協力を得ながら、総合的な学習の時間を中心に練習を重ね、文化発表会で地域の方々や保護者に披露しています。

これからも、三松の地に生まれ生活していることに自信と誇りを感じる、地域とともにある学校であり続けたいと考えております。

【教頭　明松 伸浩】

CONTENTS

❷ 宮崎県PTA連合会リーダー等研修会
❸ 「子育て10か条」新イラスト決定者表彰式
コラム「親がめ子がめ」
❹ 日本PTA全国研究大会広島大会
❺ 三行詩
宮崎県PTA研究大会えびの市・小林市
西諸県郡大会
❻ トピックス「西都市立三財小中学校」
編集後記

宮崎県PTA連合会
ホームページ

編集・発行：宮崎県PTA連合会
発行責任者：森山 慎作
宮崎市旭1丁目3-10 婦人会館2階　Tel:0985(22)3081　FAX:0985(20)9443
http://www.miyazakikenpta.com　E-mail: mken-pta@io.ocn.ne.jp

宮崎県PTA連合会

リーダー研修会

令和5年
7月15日(土)
JA AZM
ホール

令和5年度宮崎県PTA連合会リーダー研修会が109名の参加で行われました。主な参加者は、県内の各小中学校のPTA会長・副会長です。

はじめに、今回5年ぶりに新しいイラストとなった「子育て10か条」の原画を考えた小中学生を招待して、表彰式が行われました。受賞者は、緊張した面持ちで宮崎県PTA連合会の森山会長から1人ずつ表彰状を受け取っていました。

表彰式

次に、宮崎県内でのSDGs啓発の第一人者である難波裕扶子氏をお招きし、「SDGsを意識した生活様式の在り方」について講演していただきました。たくさんのスライドをもとに、現在の環境がどのぐらい危機的状況にあるのかを説明されました。「1000年先を生きる子どもたちへ良い未来を手渡したいので、今できることは何でもします。」と、熱く語ってくださいました。また、最後に保護者へ向けて「子どもたちの『好き』を伸ばしてほしい。否定せずに見守ってあげてほしい。それが未来づくりです。」と、メッセージもいただきました。

難波 裕扶子 氏

その後、ワークショップでは4会場に分かれ、PTAへの入退会問題や諸課題等について同規模の学校でグループを作り、情報交換を行いました。参加した方々は、お互いが抱えている問題について情報を共有することで、今後のPTAの取り組み方の参考になることもあり、真剣に話し合いをされていました。

今回は、冒頭の表彰式に子どもたちが参加するなど、コロナ禍以前の風景に近づきつつあり、明るい未来につながる研修会となったのではないでしょうか。

ワークショップ

アンケートから

93／109名
回収率 85.3%

講演会・情報交換会(ワークショップ)の内容について、ほとんどの方が良かったと回答されました。最近のPTA問題、地域によっての悩みの違いなど、他校の話も聞けて良かったとの意見が出ていました。今後の会の継続を希望されている方が多くいらっしゃいました。

○コロナ等を含め様々な状況に応じた対応が今後も必要だと改めて感じた。
○同じ課題を抱えている学校もあり、情報交換や意見交換ができて有意義な時間だった。
○自分たちの知らない情報を知ることができて良かった。
○情報交換会は年1回ではなくもっとしてほしい。
○時間が足りなかった。
○これから大きな問題となっていくことは間違いないので貴重な時間となった。
○学校の仕組みから学びたいと思った。
○コロナで活動がなかったため、行事の進め方がわからない。
○PTA加入のメリットを知ることができて良かった。
○このような情報を共有する場は必要。他校の取組が分かり充実した時間となった。
○しっかりとした説明と対話があれば解決する。

“子育て10か条” 新イラスト決定者表彰式

森山会長と表彰式に参加した児童・生徒

宮崎県PTA連合会で平成30年に作成された「子育て10か条」の新しいイラストを令和4年に募集し決定しました。153点の応募のあった中から10名が決定され、7月に開催されたリーダー研修会の開会行事で表彰式が行われました。当日は、イラストが選ばれた小学1年生から中学2年生までの9名が参加しました。おめでとうございます。

新しい「子育て10か条」は、チラシは7月に学校を通して全PTA会員の皆さまへ、ポスターも7月に学校へ配布しています。

【第 1 条】 長　尾　莉　真
宮崎市立内海小学校1年

【第 2 条】 瀬之口　陽　太
都城市立沖水小学校5年

【第 3 条】 深野木　悠　隼
小林市立細野小学校2年

【第 4 条】 村　田　　遥
都農町立都農中学校2年

【第 5 条】 山　口　れ　い
都城市立祝吉中学校2年

【第 6 条】 後　田　みなみ
宮崎市立恒久小学校5年

【第 7 条】 細山田　梨　花
宮崎市立恒久小学校3年

【第 8 条】 田　村　心　美
国富町立八代中学校1年

【第 9 条】 松　井　は　な
高鍋町立高鍋西中学校2年

【第10条】 平　田　あ　い
宮崎市立東大宮小学校4年

（学年は令和4年度時点）

コラム 親がめ子がめ

つながり

三股西小学校
PTA会長　堂領 健二

PTA会長になった4年間、コロナ禍で多くのPTA活動ができませんでしたが、本年度よりPTA活動を少しずつ再開することができるようになりました。

9月には4年ぶりにPTA奉仕作業を行いました。以前の活動では会員全員の参加を求めていましたが、今回は可能な方に参加を呼びかけました。当日、参加者は少ないのではないかと心配していましたが、200名以上の保護者の方が参加してくださり、PTA活動への御理解と御協力をいただいていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私はPTA活動を約10年間やっていますが、その中で大切だと感じているのは「つながり」です。私自身、PTA活動を通して、多くの先生方・保護者の皆さん・他の学校のPTAの皆さんと出会うことができました。残り半年の小学校でのPTA活動となりますが、何かあったときに相談ができる保護者同士の関係作りを少しでもお手伝いできればと思っています。

第71回日本PTA全国研究大会

広島大会

分科会 令和5年 8月25日(金)
広島県内８会場

全体会 令和5年 8月26日(土)
広島県立総合体育館
広島グリーンアリーナ

大会スローガン

変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！

～見つけ 考え 変わろうや ぶち楽しいで!!～
広島から全国へ

全体会

宮崎県ＰＴＡ連合会会長　森山 慎作

全体会は世界各国で国際親善に努めている「広島ジュニアマリンバアンサンブル」の華やかな演奏によって幕が明けました。元気いっぱいの子どもたちの姿に会場は大きな歓声と手拍子に包まれました。

記念講演の講師は実業家・エッセイストの黒川伊保子氏で、メーカーエンジニアとして人工知能の研究に長年携わり、現在ＡＩを活用した独自のマーケティング論を提唱されています。「心のトリセツ」と題した本講演では、共感力の大切さとその高め方、夫婦仲のより良い関係づくりやわが子とのコミュニケーション、失敗を恐れない挑戦心の育み方など、私たちＰＴＡに身近な例を交えながら、脳機能と言葉の効用についてお話しいただき大変有意義な講演会となりました。

黒川 伊保子 氏

開会・閉会行事では多くのご来賓のもと、次年度川崎大会への大会旗引継ぎや大会宣言の決議が行われ、今大会を起点とした更なるＰＴＡ活動の推進を一同に誓いました。

第4分科会

子供のかけがえのない命と尊厳を守る
～幸せに育つ子供の未来のために～

宮崎県ＰＴＡ連合会副会長　松本 祐子

ジャーナリスト石川結貴氏より「孤立と虐待のない街づくり」の基調講演、チャイルドライン支援センター上野和子氏の実践発表を拝聴しました。親の経済的困窮、人間関係の希薄化など子どもを取り巻く問題は複雑化し、知らない人とつながる子どもが急増しています。ＳＮＳには「助け」を求める子どものメッセージがあふれている実態を聞き、「居場所」や「支え」のない子どもたちがスマホで簡単に犯罪に関わる怖さを再認識しました。

石川 結貴 氏

今ＰＴＡに必要なことは、想像力・行動力・突破力を養い、少しでも早く子どもたちとつながり、子どもたちが誰かに必要とされている実感をもてるように関わることではないでしょうか。「今日も元気でいてくれてありがとう」と声をかけてもらうことが何よりも救いになるようです。

子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利の４つの柱を軸に、子どもと大人のパートナーシップを図り、子どものことは子どもに聞くということの大切さを学びました。安心できる環境や居場所では、失敗は子どもの心の成長の支えとなるようです。子どもの時に大切にされた、否定せずに話を聞いてもらえた、そんな経験が礎になっていくことでしょう。

講演の中で、完全無料の学習塾「ゆめのば」のご紹介がありました。中学3年間の熱血授業を受けることができます。便利なスマホの活用方法を子どもたちに伝えることも大人の大切な役割だと感じました。

特別第1分科会

世界で活躍する人材を育むために
～これからの国際化に対応できる力とは～

宮崎県ＰＴＡ連合会副会長　竹原 英智

国際協力機構(JAICA)の村岡氏は、沢木耕太郎著『深夜特急』に感銘を受け自身もバックパッカーで海外を旅した経験があるとのこと。以来、国際協力に興味をもち途上国発展に関わる仕事に従事。「子どもの可能性は無限大であり、関心は様々であるが、心に刺さるキッカケをもつことが重要である。大人や子どもが一緒になって色々なことを積極的に主体的に知り、体験してほしい」とお話しされました。

村岡 啓道 氏

実践発表ではAIC World College大阪初等部校長の熊谷氏が大喜利的な例題を用い、多様性を受け入れる中でも、自らの考えを発信することの重要性を教えていただきました。英語を話せても国際人とは呼べず、アイデンティティをしっかりもつ者こそが評価・尊重されるとの言葉が印象的でした。

激変する世の中で、文化的背景・常識が異なる国際社会で活躍するには、自ら考え、学び、解決する力が必要だと、分科会を通じて学びを得ることができました。

特別第2分科会

教育の情報化の推進
～これからの情報化社会に生きる子供たちに必要なもの～

宮崎県ＰＴＡ連合会副会長　赤池 智和

特別第２分科会では、「教育の情報化の推進」をテーマに、静岡大学 塩田准教授の基調講演から始まりました。

最近のChatGPTなどの生成型ＡＩが話題になっているが、このようなテクノロジーを用いてより豊かで持続可能な社会を実現するために今後どのような力が必要か。また、GIGAスクール構想のもと1人1台端末が配付され、「学びの変革」期の時代に必要な力は何なのか。塩田准教授は、「情報を上手に活用する力」「リスクに対応する力」が必要であるとお話されました。

塩田 真吾 氏

続いて鳥取県ＰＴＡ協議会の髙尾会長による実践発表では、ＳＮＳトラブル防止標語「とりのからあげ」と題し、ユニークでかつ分かりやすい啓発活動の取組事例がありました。

最後に、文部科学省の現職課長や民間のＩＣＴ研究者なども交え、今後の教育の在り方等についてパネルディスカッションがありました。

リアルな生活(現実社会)をより良くするため、教育も生き抜く力も、デジタルをうまく活用することは必要不可欠であると感じました。

たのしい子育て全国キャンペーン　三行詩入選作品紹介

「家庭で話そう！　我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」をテーマにした三行詩募集に、県内の小中学校より298点の応募がありました。その中から県内審査を通過した作品15点を、日本PTA全国協議会へ推薦しました。

［小学生の部］

はやおきで
めざましどけいに
かちたいな
馬原 璃空／岩戸小学校

いもうとは
いつもわらうよ
おもしろい
加治屋 優空／那珂小学校

おかあさん
うんでくれて
ありがとう。
松浦 結季／那珂小学校

すいみんは
あしたのための
エネルギー
佐藤 陽馬／岩戸小学校

メディア時間
へらしてふえる
会話時間
新名 泰鵬／田原小学校

［中学生の部］

腹へった
親がいるから
つぶやける。
山下 未裕／岡富中学校

反抗する時もあるけど
感謝してる
いつもありがとう
深江 希空／宮崎東中学校

父よ、トランプで勝った時
私が負けず嫌いなの知ってて
煽ってくるのやめてくれ
本白水 絵菜／宮崎東中学校

睨み合う反抗期
部屋でひとり反省会
いつも言いたいありがとう
黒木 彩華／宮崎東中学校

お母さんが
毎朝淹れてくれる紅茶は
元気が出る魔法の飲みもの
明日は少し早起きして
私がお母さんに
淹れてあげたいな
牧 桜子／岡富中学校

［一般の部］

スマホの通知をオフにした
その先に生まれる
親子の時間
興梠 美夏子／高千穂小学校

あんなに腹が立ったことさえ
許しちゃうんだな
この寝顔を見ていると
清水 眞名／宮崎東中学校

あなたのために悩む日々は
いとおしくこんなにも幸せ
今日もありがと
いってらっしゃい
河野 望美／延岡南中学校

孫達に
負けてうれしい
クイズ番組
河野 ケサ子／夏尾小学校

「ありがとう」
あたり前のことに
感謝を言える
あなたに「ありがとう」
岩崎 由美子／夏尾中学校

第65回宮崎県PTA研究大会

えびの市・小林市・西諸県郡大会

子どもの未来を見据え、家庭と学校と地域とが協働して子どもを支え、応援することの意義を考えよう！

～子どものキャリア形成を支える
家庭と学校と地域の連携協働の在り方～

- 日　　時 … 令和5年12月2日（土）
- 場　　所 … えびの市文化センター
- 研究発表 … 小林市細野小学校、高鍋町立高鍋東中学校
- パネルディスカッション

テーマ「子どものキャリア形成と家庭・学校・地域の係わり方」

第44回宮崎県小・中学校 ＰＴＡ新聞コンクール募集のお知らせ

今年４月から年内に発行したPTA新聞（広報紙）をご応募ください。申込詳細は、きずな11月号と一緒に学校へお届けしている文書や県Ｐホームページでご確認ください。

【応募締切】令和6年1月9日（火）必着
【応 募 先】宮崎県PTA連合会事務局

令和5年度国内研修事業参加募集について

日本PTA全国協議会国内研修事業として、下記対象者と期間で募集いたします。選考の上参加者を決定いたしますので、詳細は学校へ配付している文書をご確認ください。

- **事業内容**　国立沖縄青少年交流の家・沖縄県立糸満青少年の家での文化交流
- **対 象 者**　中学2年生 男女各1名
- **実施期間**　令和6年3月26日(火)～3月30日(土) 4泊5日

黒土大地のもと 三つの財をもち 地域に貢献する児童生徒の育成

【西都市立三財小中学校】（柳田 益宏校長 生徒数58名）

県の中央部に位置する西都市は、日本最大級の西都原古墳群を有し、一ッ瀬川や三財川の恵みを受ける自然豊かな地域です。市内にある中学校6校のうち、西都銀上学園と三納小中学校、三財小中学校の3校は小中一貫校です。開校12年目を迎える本校には、小学生114名、中学生58名が元気に通い、黒土大地のもと、保護者と地域の皆様に温かく見守られのびのびと育っています。

〔心の財 花の配布活動など〕

「花の配布活動」は、三財地域づくり協議会と本校とのコラボレーション企画です。毎年12月、小中学生が育てた花を、各区長や民生児童委員などの協力を得ながら、一人暮らしの高齢者や施設などに配布しています。子どもたちのメッセージカードを添えた贈り物を、地域の方々は楽しみに待っていてくださいます。

このほか、サツマイモの栽培や臼太鼓踊り、カヌー教室など、地域の皆様に支えられ、子どもたちは豊かな心を育んでいます。

「元気にお過ごしください」「ありがとう」

〔学びの財 さいと学アワード・へそ祭り〕

8月、地域で体験的に学んだことをアウトプットし学びの成果を共有し合うことを目的として、第2回「さいと学アワード」が開催され、市内全ての中学3年生が集いました。本校からは、校内選考で選ばれたチーム「Clean Labo」が出場しました。「ゴミに価値を」というコンセプトのもと、県内様々な方の力を借りながら、美しい三財をめざし探究活動を行いました。その成果を発表し、おかげさまで2年連続の最優秀賞を受賞しました。

最優秀賞「Clean Labo」

三財が宮崎県の地理上の中心「へそ」に当たることから、毎年10月に「へそ祭り」が行われます。この祭りには、生徒も実行委員として加わります。へそ踊りやへそ相撲、地産品の販売等で賑わう中、生徒も自分たちの企画した催しでお客様を迎え、ステージの進行も行います。

7年生企画「福祉ゲーム」

〔身体の財 小中学校運動会・3校合同駅伝ロードレース大会〕

9月は「小中学校運動会」。各種競技の他、小学生全員によるつばめダンスや中学生全員によるパフォーマンスバトルで大いに盛り上がりました。今年は、ご来賓や敬老会、地域の方々にもたくさんの応援をいただきました。また、夏休みのPTA親子共汗奉仕作業や会場準備、後片付けに至るまで、保護者の皆様の全面的なご協力のお陰で、今年も充実した運動会となりました。

小中赤白団長「選手宣誓」

12月には、三納中、都於郡中との「3校合同駅伝ロードレース大会」が盛大に行われます。本大会に向けて、授業での練習はもちろん、保体部の計画で朝と放課後の時間を使って走り込みをします。題して「朝RUNタRUN超たまRUN」今年も、会場では各校保護者からの、沿道では地域の皆様からの温かい声援を受けながら、きっと白熱したレースが展開されることでしょう。

3校合同「駅伝の部」

【教頭 勢井 利彦】

編集後記

夏休みに10才の娘を4泊5日の1人旅へ送りだしました。娘より私の方がドキドキがとまらず、ちゃんとご飯を食べているか、淋しい思いをしていないかと心配していました。たくましくなって帰って来る娘を想像していましたが、前にも増して甘えん坊になっていたので衝撃が走りました。 平田

健康づくりのために、パーソナルトレーニングジムに通っています。かれこれ半年が過ぎました。ダイエットも少しはありますが、将来、歳をとっても元気に過ごせるのを目標にしています。先日、子どもの行事で学校まで久しぶりに自転車に乗ったところ、スイスイと軽やかにペダルをこげる自分にもう感動！「継続は力なり」を実感したところです。 田中

「ばあば」と呼ばれたくない友人は孫に「バーバラ」と呼ばせている。彼女からの登録名を「バーバラ」にしている。バーバラから電話がかかってくるたび面白い。そして、来年娘に子どもが生まれることになった。「ばあば」への覚悟はできていない。受け入れがたい。となるとバービーが有力候補か…。どうする私。 西村

登山にキャンプ、旅行・グルメ・囲碁・マラソン・スキーetcと多趣味で酒豪の父の笑顔が見られなくなって久しくなります。もう一度父の笑い声が聞きたいと願いながら、父に話しかけています。どんな姿になっても理想の父です。いくつになってもパパっ子の自分に驚きです。 田ノ上